

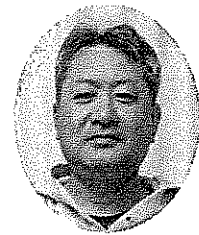
はっぴい

第 81 号

編集・発行
白山高等学校PTA

印刷
伊藤印刷株式会社

2026. 3



御
礼

PTA会長 野田 年 延

日頃よりPTA活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。近年ではコロナよりもインフルエンザが大流行し、生徒、教職員、保護者様におかれましては心配な日々が続きましたが、体育祭、二年生は修学旅行、文化祭と無事に実施できました。

体育祭では開催前に梅雨入りし、その前後の日は雨で開催自体危ぶまれましたが、子供達の想いを通じ、開催日は見事に雨が止み晴れ間も見える最高の体育祭となったこと。

また修学旅行では早い時期にインフルエンザが大流行し、参加できない生徒も出るのでは？と心配していましたが、皆さんの体調管理がしっかりしていた事で全員参加で行程を終えたこと。

文化祭では各クラスでの催しを皆で協力しあい制作し、楽しい時間を過ごせたこと。生徒達の白山高校での大事な想い出となる財産ができたと思います。いずれも皆様のご協力があったこそです。本当にありがとうございました。

そして卒業を迎えられるお子様をお持ちのご家庭の皆様におかれましては、三年間の高校生活を終えられ晴れの門出を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。

卒業生の皆様はこの春からそれぞれ違う道へ行かれる事となります。校長先生が年頭に述べていた「自立した大人」には近づけましたか？社会へ出る者、進学する者。道はそれぞれ違いますが、皆が新しい環境に慣れてより良い生活が送れるようお祈りしております。

私事ではありますが息子が野球部と言う事もあり、卒業生の部員達には日頃より大変お世話になり、野球を通して一致団結し取り組む姿、毎日辛くても笑顔が絶えない部員達、暑い中でも必死に練習する姿を見て下級生達も看過されて先輩達の教えを引き継いでいます。

夏の大会では甲子園出場を果たした高校に唯一、最終回までリードをしあと一步と言う所まで追い込んだ事、悔しかったですが皆が一所懸命に

白球を追いかける姿を見て感動しました。きっと他の部活動でも数々のドラマがあった事と思います。皆さんがそれらを今後の人生の糧としてより成長してくれる事を願っています。白山高校卒業生の皆様ご卒業誠に改めてありがとうございます。

そして在校生の皆さん。卒業までの本校での時間を充実したものにできるよう精一杯楽しんで下さい。皆さんの自分の物語りを作して下さい。皆さんが楽しめるようにPTAも寄り添い一緒に歩めるよう努めます。

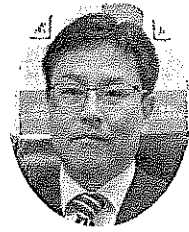
校長先生を始め教職員の皆様には三年間温かく見守り熱心なご指導をしていただいたおかげで生徒達は成長しこの日を迎えられる事PTAを代表して御礼申し上げます。ありがとうございます。

またPTA会員の皆様におかれましては日頃より本校のPTA活動にご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。本校の活動が円滑に行えるのも皆様が子供達と向き合い携わっていただけるからこそだと思います。今後共ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたがPTA会長として至らない事も多々ありましたが多くの方にお力添え頂き無事に任務を終える事ができ厚く御礼申し上げます。

今後の皆様のご健康とご多幸をお祈りして挨拶とさせていただきます。

旅立ちの季節に寄せて



校長 伊藤 毅

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度、さまざまな場面で保護者の皆様には大変お世話になりました。とりわけ、昨年八月に津市で開催されました全国高等学校PTA連合会三重大会では、全国から多くの関係者が集う中、本校PTAの皆様には参加のみならず、運営面でも多大なご協力をいただきました。皆様の力強いサポートにより、三重県教育の魅力を全国に発信する素晴らしい大会となりましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。また、十一月の本校の文化祭では、PTA主催の模擬店にて温かい食べ物を提供していただき、生徒たちにとって心に残るひとときとなりました。保護者の皆様のご尽力が、学校行事をより豊かで楽しいものにしてくださったこと

に感謝いたします。

本校が目指す高校教育の最大の目的は、生徒の皆さんが「自立した大人に近づくこと」です。知識や技能の習得はもちろん大切ですが、それ以上に、社会の一員として自ら考え、判断し、行動できる力を育むことが重要です。そのために、今年度も学校だけでなく、保護者や地域の皆様のご協力を得ながら、地域の課題解決に取り組む学習や、勤労体験を通して社会人としての基礎を学ぶ機会を設けてまいりました。さらに、地域とのつながりを深める機会として、J・R名松線開業九十周年の記念行事の企画に本校生徒が参加しました。地域の歴史や文化に触れながら、公共交通の大切さを学ぶ貴重な体験となり、生徒たちにとって大きな成長の場となりました。こうした活動は、まさに「自立した大人に近づく」ための学びであり、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む本

校の教育理念を体現するものです。

そして、いよいよ三年生は卒業の時を迎えます。これまでの高校生活を支えてくださった保護者の皆様に、心から敬意と感謝を申し上げます。お子様の成長を共に見守り、励まし続けてくださったことが、今日の輝かしい姿につながっています。卒業生の皆さんには、ここで培った知識や経験、仲間との絆を胸に、新しい世界へと力強く羽ばたいてほしいと願っています。これからの人生には、挑戦と変化が待っています。白山高校で学んだ「努力することの尊さ」や「仲間と支え合う心」を忘れず、自分の可能性を信じて歩み続けてください。失敗を恐れず、一步を踏み出す勇氣こそが、未来を切り拓く力となります。皆さんの前途が希望に満ちたものであることを心から祈っています。

本校はこれからも、学校・家庭・地域が一体となって「自立」に向かう学びを紡ぐ教育活動の充実に努めてまいります。改めて、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸、そして卒業生・在校生の未来が、希望と出会いに満ちた道となることを心から祈念いたします。

三学年主任より

卒業生保護者の皆さま、本校の教育活動に三年間温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。卒業を迎えられたお子さま、そして今日まで支えてこられた皆さまに、三学年一同よりお祝いと感謝を申し上げます。

入学時、緊張した面持ちで体育館に整列していた姿が、つい先日のことのように思い出されます。以来、新しい環境に戸惑いながらも、少しずつ人間関係を構築し、行事や部活動、日々の授業を通して、それぞれの居場所を作り出していきました。その中には上手にいったことばかりではなく、悔しさや迷い、立ち止まる時間もあったことでしょう。しかし、その一つ一つが確かな成長の証であり、今の凛とした逞しい姿へとつながっています。

私たち教員が目にしてきたのは、教室での姿だけではありません。行事の準備に真剣に取り組む姿、仲間を気遣う何気ない言動、人間関係の行き詰まり苦悩、逆境を乗り越えようとする強さ、卒業後の進路を実現させる努力……。そうした場面の積み重ねが、三年間のかけがえのない物語として心に刻まれています。

ただその物語の陰には、いつも保



護者の皆さまの存在がありました。見えないところでの励まし、見守る強さ、時には叱り、時には寡黙に寄り添うその姿勢が、子どもたちの大きな支えであったことを、私たちは知っています。

これから先、お子さまたちはそれぞれの道を歩んでいきます。思うようにいかない時もあるかもしれませんが、白山高校で過ごした日々と、ご家庭で育まれた温もりが、必ず乗り越える糧になります。どうかこれからも、変わらぬ眼差しで見守ってやっていただきたいと思います。

白山高校の学びにお子さまを託してくださったこと、改めて感謝申し上げます。

上げます。皆さまのご健康と、ご家族のこれからの歩みに幸多からんことを、心よりお祈りいたします。

生徒会より

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。晴れやかな門出を迎えた皆さんの表情を見ると、共に歩んできたこの三年間、あるいはこの一年間の様々な場面が鮮明に思い出されます。

今年度も、皆さんの協力のおかげで、多くの生徒会活動を無事に実施することができました。四月の対面式に始まり、体育祭、そして地域に根ざしたクリーン作戦や、年に三回のクラスマッチ。どの行事においても、三年生が真剣に物事に取り組み、後輩たちを導いてくれる姿が、常に学校の土台となっていました。

特に、一般公開も含めて実施した文化祭では、最上級生としての皆さんの「真面目さ」と「団結力」を改めて実感しました。皆さんが最も力を注いでいた模擬店では、メニュー選びから当日の運営まで、クラスで意見を出し合いながら着実に形にしていく過程がありました。私たちが何より感心したのは、当日の盛り上

がりだけではありません。限られた時間の中で、テキパキと準備を整え、最後の片付けまで責任を持ってやり遂げる姿です。こうした「当たり前」のことを当たり前になす「強さ」こそが、皆さんの素晴らしい持ち味であり、行事を成功に導く大きな力となりました。

私たち教職員や生徒会役員は、皆さんの高校生活が少しでも充実したものであるよう、試行錯誤を続けてきました。運営するなかで至らぬ点もあったかと思いますが、皆さんが行事の一つひとつに対して、真摯に、そして楽しそうに向き合ってくれたことが、何よりの支えでした。行事ごとのアンケートに寄せられた「楽しかった」「またやってみたい」という言葉は、皆さんが自分たちの手で充実感を勝ち取った証です。

最後になりますが、改めてご卒業おめでとうございます。この三年間、うまくいったことばかりではなく、苦労したこともあったでしょう。しかし、それらを乗り越え、今日この日を笑顔で迎えた皆さんの強さを誇りに思います。これから歩む新しい世界でも、自分らしく一歩ずつ進んでいてください。皆さんのこれからが、幸多きものであることを心より願っています。

野球部より

卒業生、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

今年の卒業生の皆さんは、先輩方の結果を超えるために、キャプテンを中心として苦しいことでも前向きに頑張っていたこうとスタートしたチームでした。一年生の時に上級生の代から試合経験を積んでいたメンバーが何人かやめることとなり、新チームのスタートでも思うような結果が出ずに秋の大会を迎える形となりました。そんな中迎えた地区予選では実力以上の力を発揮して、地区予選を勝ち抜き、県大会でも一、二回戦では接戦を勝ち切って三回戦まで進出しました。三回戦では夏に甲子園に出場している蕨野高校との試合でしたが、その試合でも注目投手相手にしっかりと攻撃することができ、結果はコールド負けとなりましたが、手応えを感じる試合となりました。そこでつかんだベスト8という結果を自信にするため、秋は強豪校との試合を経験することで、よりチームとして力をつけていきました。

シーズンが終わり冬を迎え、自分たちの強みを生かすためにもっと体を鍛えようと厳しい練習にも前向きに

取り組んだことで、明らかに一回り大きくなった体で春の地区予選に臨みました。しかし迎えた地区予選の一回戦では津東高校の策にはまって延長戦の末惜敗し、二次予選でも秋の県大会で勝っている津工業に負けたことで予選で敗退することとなりました。

その悔しさをもとにもう一度チームとして目指すべき方向を決めて一からのスタートを決意した春の練習試合では、決めたことをやり切れるまで何度負けても方向性がぶれることがないよう意識してチームを作ってきました。

そして迎えた三年生最後の夏、第107回選手権大会三重県大会。初戦は抽選会の結果、熊野スタジアムで試合をすることとなりました。スタンドには多くの保護者の方や友達、学校関係者が応援に駆けつけ声援を送ってくれました。

相手は尾鷲高校で、序盤は緊張もありましたが、点数を重ねるごとに普段通りのプレーができるようになり、結果的にはコールドで勝ち上がることができました。そして迎えた二回戦は春の三重県大会で優勝している津田学園との試合、序盤から先発投手を攻め二点を先制、津田学園もこれ以上失点はできないためエースを投入してくるなど、終始優位な状況で試合が進んでいきました。しかし最終回、第一シードの意地を見せつけ

られ、あと一步のところで逆転サヨナラ負けとなりました。悔しさがあつたものの、のちに甲子園で勝つていく津田学園を追い詰めることができたという手ごたえも感じることもできました。高校卒業を迎えた三年生にとって、今がまさに、『人生のプレイボール』です。白山高校グラウンドでの経験を糧に、高校での多くの出会いを大切に、次のステージに大きく羽ばたいてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には、野球部の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。今後とも、白山高校野球部をよろしく願います。

《公式戦 戦績》

第76回 秋季三重県大会 中勢地区予選

1次予選	
1回戦	白山 11-0 名張青峰
2回戦	白山 4-2 久居農林
3回戦	白山 6-7 久居
順位決定戦	白山 7-6 高田

(第3代表決定)

三重県大会

1回戦	白山 9-6 津工業
2回戦	白山 2-1 鈴鹿
3回戦	白山 1-10 菰野

第72回 春季三重県大会 中地区予選

1次予選	
1回戦	白山 9-11 津東

2次予選

1回戦	白山 3-4 津工業
-----	------------

(予選敗退)

第107回 選手権大会 三重県大会

1回戦	白山 7-0 尾鷲
2回戦	白山 2-3 津田学園

陸上競技部より

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今年度、陸上競技部は三年生がない体制でのスタートとなりました。例年とは異なる環境の中で、二年生が主体となり、日々の練習や大会に向けて真摯に取り組んでくれました。人数が少ないことで練習の工夫が求められる場面も多くなりましたが、その分、一人ひとりが責任感を持ち、互いに声を掛け合いながら前向きに活動が続けてくれたと思います。

特に冬期練習では、厳しい環境の中でも弱音を吐かず、地道なトレーニングを積み重ねる姿が印象的でした。大会においても、投擲種目や短距離種目・跳躍種目で自己記録を更新する選手が多く、二年生が三重県高校新人の男子円盤投げで五位に入賞し東海高校新人に出場するなど努力の成果が着実に表れています。

こうした成果は、部員たちの努力だけでなく、日頃から温かく見守り支えてくださる保護者の皆様、応援して下さる先生方、そして練習に協力してくださるOBの皆様のおかげだと感じています。心より感謝申し上げます。

これからも「立てた目標の意味を考えること」「その達成が誰の喜びにつながるのかを意識すること」を大切に、プラスの言葉をチーム全体で共有しながら、より良い陸上競技部をつくっていききたいと思っています。

白山高校陸上競技部は、これからも応援していただけるチームを目指して努力を続けていきます。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

今年度の主な大会成績など

・三重県高等学校新人陸上競技大会
男子円盤投5位(36・15m)

伊藤 煌徒(二年二組)

・東海高等学校新人大会
男子円盤投11位(36・53m)

伊藤 煌徒(二年二組)

弓道部より

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆さまには弓道部の活動へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

弓道の動作の一つ一つは、日常生活ではあまり意識することのない部分を動かす必要があります。足の運びや弓の持ち方などについて、初めの頃は慣れないために動きがぎこちなかったりとても疲れやすかったりしていたようでしたが、練習を重ねるほどに、その動きが自然なものとなっていました。また、上達に向けて先輩後輩の別なく互いの射を見てアドバイスをしたり、協力して掃除や道場の整備に取り組んだりしてきた中で得られたものはたくさんあったのではないのでしょうか。

男子バスケットボール部より

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

共に駆け抜けた三年間でしたが、くじけそうになりながらも自分自身と向き合い、人として大きく成長してくれたと思います。

時に、気持ちと気持ちをぶつけ合

い時に、手と手を合わせて励まし合っている、そんな三年生の姿を見て育った一・二年生は今、三年生の姿を追いかけて一杯練習に励んでいます。

特に今年度は、少ない人数の中で、多くの人に助けていただきながら過ごした一年だったと思います。最後の大会では、結果は負けでしたが、多くの人に応援に来ていただき、逆転するのではないかとというゲーム展開に持ち込み、君たちの最大限の武器である、最後まで諦めない気持ち、コート上で表現されていたと思います。これから先、社会に出たときに挫けそうになる時もあるでしょう。そんな時こそ『人を頼る勇氣』『感謝の気持ち』を忘れず、たくさんの人とつながり、成長を続ける人生を歩んでいってください。

君たちのこれからの大いなる成長を楽しみにしています。また、近況報告をしがてら、顔を見せてください。卒業おめでとう。

最後になりましたが、保護者の皆様、応援してくださった先生方、OBの皆さん、バスケットボール部の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。今後とも、白山高校バスケットボール部をよろしくお願いいたします。

サッカー部より

「ご卒業おめでとうございます。」

男子三名 女子一名 マネー ジャー二名の計六名で活動しています。人数の加減で白山高校として単独で大会に参加することはありません。今は、合同チームに所属し大会等に参加している次第です。普段の活動はそのほとんどが個人練習であり、集団の練習はできない状況です。部員たちは個人技術の向上に毎日励んでいます。尾鷲・木本・昂・白山ともに少人数であり、この一年は合同チームとして各大会参加してきました。今後もこの状態が続くそうです。

家庭部より

今年度は、三年生二名を含む計五名全員が新加入という、非常にフレッシュなメンバーでスタートしました。三年生が中心となり、時には真剣に、時には学年を超えて和気あいあいと交流できる温かい雰囲気をつくり上げてくれました。そんな心地よい環境の中、家庭部は今年度も「被服製作」に重点を置いて活動しました。

最初の作品として「はっぴい七月号」でも紹介した「スウェーデン刺繍」に挑戦し、一針一針、コツコツと刺し進めて完成した鮮やかな刺繍は、ティッシュケースへと仕立てました。他にも、自分で布選びから裁断・縫製まで手がけたトートバッグなど、日常に寄り添う小物作りに励みました。文化祭ではこれらの作品を展示し、手作りならではの魅力を多くの方へ発信することができました。

被服製作は根気が必要な作業ですが、完成した時の喜びや達成感は格別です。週一回の活動ではありますが、ものづくりの楽しさと三年生が築いてくれた温かい雰囲気のおかげから大切に活動が続けてまいります。今後ともご支援のほど、よろしく願いいたします。

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんが一針ずつ着実に進めた刺繍のよう、これからの一歩一歩が皆さんの確かな歩みとなりますよう、心から応援しています。



茶道部より

ご卒業、おめでとうございます。本校茶道部は、文化祭など校内での活動だけでなく、地域で行われるイベントにも参加させていただいております。白山市民会館での小中学生対象の茶道体験、沖広クラブ集会所で行われた敬老会での呈茶など、近隣の小中学生や地元の方々と触れあえる機会を持つことができました。今年は部員が少なく、いろいろな人に助けてもらいながら、活動をしてきました。そのような中、日頃のお稽古だけでなく、様々なイベントにも積極的に参加してくれた三年生には、本当に感謝しています。難しいお点前も、たくさん練習でできましたね。卒業後も、茶道部の活動を思い出してもらえると嬉しいです。



商業部より

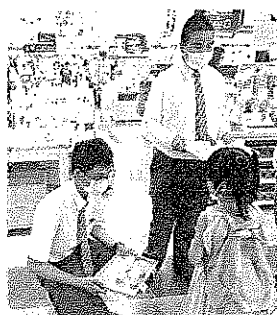
商業部で様々なイベントに参加をしてくれたあなたへ。卒業おめでとうございます。入学をして中間考査も終わった六月に入ったばかりのあなた

は、先輩たちについて前年度に作られた白山コラの販売実習にでかけ、緊張しながらも様々なお客様にコラを飲んでいただいていた商品がたくさん販売しました。同級生もいない中、先輩たちが卒業をしていても変わることなく三年間本当に様々なイベントに参加をしてくれました。本当に感謝をしています。白山高校の情報コミュニケーション科の代表として対外的なイベントに参加をしてくれ大変助かり

3年次▶
三重県産業教育
フェアにて



◀2年次
ふれ愛フェスタにて



▲1年次
近鉄百貨店四日市店にて

ました。また、二・三年次の授業で行ったイベントでも、豊富な経験から大変頼りになりました。その時にも三年間でここまで成長をしたんだと実感しました。正直に仕事をやるあなたは、卒業後の新たなステージでもきつと多くの人に支えられ、多くの人を支えることでしょう。何をすればお客様に喜んでいただけるのか、人の力がついたと思います。白山高校で学んだことを活かして今後の人生で大いに羽ばたいてください。本当に卒業おめでとうございます。

人権サークル同好会より

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今年度は、三年生三名で活動をしてきました。毎月一回程度、中勢地区高校生人権活動交流会（中勢地区高校生友の会）に参加し、他校の生徒と意見交流を行いました。また今年度は、盲学校でのフロアーバレーボール体験、白山市民会館での学習ボランティア、一志での絵本読み聞かせとお絵描き活動など、少ない人数でしたが積極的に参加してくれました。加えて、家城文化センター学習会に

参加する小学生のみなさんに白山高校に来てもらい、ゲームをしながらの活動報告や、クリスマス会での歌や工作活動を楽しみました。

みなさんと貴重な時間を過ごし、多くの経験ができ、本当に感謝しています。人との関わりの素晴らしさを忘れず、社会に出ても自分らしくがんばってください。



吹奏楽部より

今年度はわずかながら新入生部員を迎え、新鮮な気持ちで日々活動を続けることが出来ました。

七月に行われた夏の野球応援は熊野スタジアムに遠征。OB・OGの協力も得て、「ルパン三世のテーマ」「紅いアフリカンシンフォニー」等おなじみの曲を演奏しました。大人数の相手校プラバンに負けじとメロディーを響かせる体験は、真夏の熊野の景色とともに、生徒の心に深く刻まれたと思います。昨年に続き、十月には一志病院で開催された「健康のつどい」に出演。一般の方々の前で演奏するという緊

張感と達成感は、普段の活動では得られない体験となりました。

十一月に開催された文化祭では、YOASOBIの「群青」、Vamdyの「怪獣の花唄」等を演奏し、教員三名もサポートに加わって盛り上げました。六名の少人数バンドながら、出来る限りの大音量で演奏を行い、舞台発表部門の最優秀賞を頂くことができました。ただ近年、吹奏楽部は慢性的な部員不足が続いており、今後の活動が充分に行えるかどうか危ぶまれる状況です。来年度はたくさんの方の新生が吹奏楽部の門を叩いてくれることを期待しながら、四月のクラブ紹介を目標に、今日も地道に練習を重ねています。

生徒指導部より

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

高校生活はどうでしたか？思い返せば、あつという間の三年間だったと思います。楽しいこともあれば、同じくらい苦しいこともあり、人生の中で大きく成長できた時期だったのではないのでしょうか。

これからの人生において、まずは「夢や目標」を持って歩んでいくって下さい。目標があるからこそ、人は進むべき方向を見失わず、困難な時でも踏ん張ることが出来ます。「こんな自分になりたい」「どうすれば近づけるのか」という思いが、日々の生活に生きがいを与え、行動を変える原動力になります。

そして、その夢や目標に対して、泥臭く「一生懸命」に取り組むことを忘れないでください。自分の力を尽くした経験こそが、自信に繋がります。懸命な姿は必ず誰かの心に届きます。あなたが全力で頑張っている限り、困ったときに手を差し伸べてくれる人は必ず現れます。

楽しかったことは「一生の宝物」として、苦しかったことは「自分の強さ」として、高校生活で得たすべての経験

験を糧に、これからも成長し続けてくれると信じています。

自分の人生を、自分の力で切り拓いていってください！応援しています！！保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。

この三年間、学校の教育活動、そして生徒指導方針に多大なるご理解とご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。ご家庭での温かい支えがあったからこそ、生徒たちは今日という日を笑顔で迎えることができました。立派に成長したお子様の背中を、私共も誇らしく感じております。今後とも本校の教育活動へのご理解を賜りますとともに、変わらぬご支援と見守りをよろしくお願いいたします。

進路指導部より

卒業生の皆さん、そして保護者の皆様へ心よりお祝い申し上げます。皆さんの卒業を進路指導部一同も自分の事のように大変うれしく思っております。

高校生活は、勉強はもちろん、部活動や学校行事など、様々な経験を通して大きく成長されたことと思います。特に、卒業を控え、就職試験に向けて努力された皆さん、そして進学に向

けて、将来の夢に向かって邁進された皆さんには、心から敬意を表します。

就職活動は、決して平坦な道のりではなかったでしょう。それでも、皆さんには、目標に向かって諦めずに努力する姿がありました。その経験は、きっと将来の大きな力となるはずです。進学をされる皆さんも、様々な大学や学部を比較検討し、自分自身の将来を真剣に考えられたことと思います。そのように、ご自身の将来をしっかりと見据えて選択できたことは、素晴らしいことです。

これから社会に出て、様々な壁にぶつかることもあるかもしれませんが、就職先で迷うこともあるでしょう。そんな時は、焦らずに周りの人に相談し、視野を広げてみてください。入社までの準備の期間、入社後など、あなたが私たちを励ましてくれた人たちがいると思います。焦って答えを出そうとせず、まずは一年しっかりと学んでください。最初からすべてがうまくいくこ



進路ガイダンスにて

令和7年度 進路一覧

令和8年1月22日現在

東海学園大学	名古屋学院大学
日本体育大学	南九州大学
四日市大学	愛知みずほ短期大学
高田短期大学	三重短期大学
旭美容専門学校	伊勢志摩リハビリテーション専門学校
大原簿記情報医療専門学校 津校	KADOKAWAアニメ・声優アカデミー大学部 大阪校
津高等技術学校	東海工業専門学校 金山校
名古屋工学院専門学校	ユマニテク看護助産専門学校
社会福祉法人 あけあい会	旭鍍金株式会社
株式会社 伊勢福	井村屋 株式会社
SWS西日本 株式会社	株式会社 ENEOSウイング 中部支店
MXモバイリング 株式会社	株式会社 おやつカンパニー
社会福祉法人 こもはら福祉会	株式会社太平洋ゴルフサービス
タカノフーズ関西株式会社	中勢林業 株式会社
株式会社ティ・エス・メカニク津出張所	トヨタ車体 株式会社
株式会社 名古屋ニチレイサービス	ニッタク株式会社
ニプロファーマ株式会社 伊勢工場	医療法人尚志会 林歯科医院
株式会社 久居LIXIL製作所	本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所
三重交通 株式会社	有限会社 森守
山川モールディング株式会社	株式会社 ライジング 明和工場
株式会社リペイント匠	株式会社 リンリン

とは稀なことです。しかし、次はこうしてみよう、次はここを変えてみよう、そんな試行錯誤をしていく中で、自分自身の仕事の型を身につけていくことでしよう。皆さんには、それぞれの個性と才能があります。その個性を活かし、自分らしく生きていくてくさい。皆さんの未来が、希望と光に満ち溢れたものであることを心から願っております。

最後に、保護者の皆様へ。お子様の成長を温かく見守り、支えてこられたことと思います。ご卒業、誠に

保健部より

日頃より、お子様の体調管理や感染症対策への温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今期はインフルエンザの流行

おめでとうございます。そして、これまで学校教育にご協力いただき、誠にありがとうございます。卒業生の皆さん、保護者の皆様の今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

により、本校におきましても学級閉鎖等の対応が続きましたが、現在は通常の学校生活を取り戻しております。ご家庭での細やかな体調管理に、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、今年度も保健部では、外部講師をお招きして様々な保健講話を実施いたしました。性に関する講話では、七月に二年生を対象として助産師の大川知美様、十二月に一年生を対象として思春期保健相談士の中谷奈央子様をお招きしました。「デートDV」や「境界線(バウンダリー)」と同意」といった、幸せに生きていくために必要な知識を学ぶとともに、自分も相手も大切にするためのコミュニケーションについて考える貴重な機会となりました。

また、今年度初の試みとして、十二月に学校歯科医の福森先生と歯科衛生士の方々に講師にお招きし、歯科講話を実施しました。むし歯や歯肉炎に関する専門的なお話に加え、正しいブラッシングや早期受診の重要性など、歯の健康について深く学びました。これに先駆け、文化祭では保健委員が中心となり、清涼飲料水の砂糖含有量や酸性度が歯に与える影響を調査しました。その成果をペットボトルキャップによる巨大アート「選ぶ未来ー歯ツッピーロード」として展示し、

全校生徒へ歯の健康の大切さを楽しく発信することができました。

卒業生のみなさんにとっては、今回が高校生活最後の保健講話となりました。ここで得た気づきを人生の糧とし、自分自身を大切にしながら、幸せな未来を歩んでいかれることを心より願っています。一・二年生のみなさんには、これからも健康で充実した高校生活を支えるための情報発信を続けてまいります。今後とも保健部の活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

